

イベント結果レポート

製造業向け安全対策セミナー

「ヒューマンエラー防止のすゝめ」を開催しました。

はさまれ・巻き込まれ災害の約8割は、人間の不安全行動によるものであり、その原因は、人が直接引き起こすエラーだけではなく、人を取り巻く作業環境などの多くの要因が含まれています。法令遵守、本質的安全対策、工学的安全対策はもちろんのことながら、これらの要因への対策は、はさまれ・巻き込まれ災害だけでなく、全ての労働災害防止にもつながることから、12月11日、製造業向け安全対策セミナー「ヒューマンエラー防止のすゝめ」を開催しました。



中央労働災害防止協会
中国四国安全衛生サービスセンター
北野安全管理士



セミナー当日の様子

北野安全管理士の講演では、ヒューマンエラー防止対策と題して、「災害が起こるメカニズム」「不安全な行動とヒューマンエラー」「やってはいけない！職場の不安全行動ワースト10」

について、説明を行っていただきました。参加者の方々は、北野安全管理士の説明を熱心に聴講されていました。

広島第14次労働災害防止推進計画では、「製造業における機械による「はさまれ・巻き込まれ」の死傷者数を2022年と比較して、2027年までに5%以上減少させる。」ことを目標としています。

当署では、目標達成に向け、引き続き管内事情に応じた取組を推進して参ります。